

2021年6月17日開会 (通算110回)

例会開催日は、木曜日です。

開会点鐘・歌の斉唱

それこそロータリー



会長挨拶

皆さん、こんにちは。

今回が私の会長としての最後の挨拶と成ります。今年度は本当にコロナに翻弄された一年ではありましたが、多くの事も学んだ一年でもありました。学んだと言うより考えさせられたと言うべきでしょうか…。例会としては24回中、半数の12回がネットでの開催を余儀なくされ、またそれに伴い多くの予定が延期または中止となってしまいました。

開催か中止かを判断する上で非常に悩ましかったのは、開催を前提として忙しい時間を割いて準備をしてくれていたメンバーがそこにはいて、またそれを楽しみにしてくれている大勢のメンバーがいる事でした。しかし、新型コロナウイルスは全く新しいウィルスという事もあり、この病気に対するエビデンスは無く、そこで根拠の無い個人の判断はするべきではないと考え、苦渋の決断をさせて頂きました。

そんな中、クリスマス会や上期納会を含めれば、4回の夜間例会を開催することができ、それは夜行性の宮の杜の本領を発揮する瞬間でもありました。コロナによって沈みがちな気持ちも一気にプラスの思考へと変えさせてくれる、有意義で楽しい時間を過ごすことが出来ました。また、卓話には6名の素晴らしい方々に来て頂き、M&Aや企業経営、SDGs、食事術についても学ばせて頂きました。中でもテラ・ルネッサンスの鬼丸さんの子供兵士のお話は胸が熱くなったのを覚えています。

今年度の始めに掲げさせて頂いた目的の殆どが未達成のまま終える事になってしまったのは、全て私の不徳の致すところで御座います。中でもチャレンジ60に関しては、引き続き私のロータリーライフの最重要事項として活動して行きたいと思えます。その他にも未達成の部分は御座いますので、次年度以降も積極的に行動して参りますので引き続きのお力添えをお願い致します。

全てをコロナの所為にはしたくは有りませんが、モロに影響を受けた事業も御座いました。交換留学生の中止は、松崎かのんさんが一年以上前から準備をして来た事を考えると残念で仕方が有りません。…嬉しいニュース

ですが松崎さんが3度目のチャレンジをして頂けるそうです。他にも嬉しい出来事と言えば、RCCで支援させて頂いているラブリッジの一部昇格や、金沢さんのご結婚も御座いました。「おめでとうございます!!」。その他にも、米山奨学生(イ・ジェギョンさん)の受け入れなども御座いました。

そして最大の出来事と言えば、メンバー全員の悲願でもありました西名古屋分区への移動が御座いました。これは歴代会長の皆様のご尽力からの流れが大きかった事は紛れもない事実では御座いますが、岡部ガバナーを始め、伊藤直前ガバナー、多くのパストガバナーのお力添えがあったからこそ叶った願いであります。そして、名古屋名駅ロータリークラブ様がこの宮の杜を子クラブとして迎え入れて頂いたこと心より感謝いたします。

振り返れば、あの時あしとけば良かった、こんな事とも出来たんじゃないか、もっと…もっと…。後悔先に立たずですね。語り始めれば、まだまだ尽きる事は御座いませんが、続きは皆さんとお会いした時にしたいと思えます。

最後になりますが、多くの方がコロナで亡くなり、今なお多くの方がコロナに悩まされ不安を感じています。一刻も早くこのウィルスとの戦いを終わる事を願うと共に、何の心配もせず皆さんとお会い出来るのを楽しみにしております。

本当に出来の悪い会長では御座いましたが、皆様のご協力により一年間一人の退会者も無く終えることが出来ました。

一年間、有難う御座いました。

楽しか

ったです!“感謝”

幹事報告

- 本日は新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、HP上(E方式)での例会開催となります。
- 6/3に西名古屋分区会長幹事会(会議のみ)が開催され、会長、幹事にて出席して参りました。
- 6/16開催予定の名古屋市内ロータリークラブ社会奉仕委員長会議に山下社会奉仕委員長、出口次年度社会奉仕委員長にてご出席頂きました。
- 次回例会(次年度第1回目の例会)は
7/1(木)12:10～13:30@若宮の杜迎賓館1階「橘の間」
例会前11:00～ 決算理事会
例会後13:40～ 第1回定例理事会
の開催を予定しております。

委員会報告

【出席委員会】

・出席率

(前回)

第109回ネット例会(6/3)

出席率:47/47名 100%
※出席免除者除いて計算

その他

～会員スピーチ～

浅野慎之副会長より

皆様、こんにちは。
緊急事態宣言の延長により、皆さんで集まれる例会がなく寂しい限りです。
今回ご指名頂きましたので、たまには真面目な仕事の話をしていただきます。

・保険金の受取人を奥様、もしくはお子様平等にしていますか？

生命保険に個人で加入する場合、多くの方は受取人を奥様、もしくはお子様が複数人いるケースでお子様皆さんを平等に受取人に指定されます。
しかし、場合によっては受取人をお子様ひとりに集中させた方が良い場合があります。

具体例:相続人 奥様 長男 次男

それぞれの方に、次のように相続させるものとする

奥様:ご自宅 5,000万円(評価額)

長男:自社株1億円(評価額)生命保険金5,000万円

次男:生命保険金5,000万円

後継者の長男に自社株を相続させ、次男にも保険金が受け取れるように設定し、
特段問題無い様に見えますが、実は保険金は民法上受取人固有の財産で相続財産には含まれません。
解りやすく言うと、次男の方から「保険金しかもらってないから、相続財産は1円ももらっていない。」と言われ、遺留分請求等の相続争いに発展する可能性があります。
この様な場合、保険金受取人を全額長男にし、長男は受け取った保険金で代償分割交付金を次男に支払うことで解決できます。

・生命保険を活用した節税対策「名義変更プラン」国税庁がメス

報道等で既にご存じの方もいると思いますが、生命保険を活用し法人の資金を個人に有利な条件で移動する、いわゆる「名義変更プラン」にいよいよ国税庁のメスが入ります。(ここではプランの詳細は割愛させていただきます。ご不明な点はお気軽にお尋ね下さい)

詳細は下記の通りです。

■保険契約に関する権利の評価

支給時期解約返戻金の額が支給時資産計上額の70%に相当する金額未満である保険契約等に関する権利を支給した場合は、支給時資産計上額で評価

■対象契約

令和元年7月8日以降に締結する保険契約に適用(同日前の契約は対象外)

■適用期間

令和3年7月1日以後に行う保険契約等に関する権利の支給(名義変更)

国税庁のパブリックコメントとの意見公募期間が終了し、6月中に新しい税務通達が
発遣される予定です。

生命保険は健康であれば加入する入口は難しくありませんが、目的、出口を明確にした
加入が大事だと思います。ご不明な点、ご興味等ありましたら気軽にお声がけ下さい。

本年度はこれが最後の例会ということで、1年間ありがとうございました。

ワクチン接種が早まりそうとの声も聞こえてきますが、早くに実現し

事態が収束に向かい、皆さんと楽しく時間を共有できる日を心待ちにしています。

水野紀孝ロータリー情報委員長より

オンラインに思うこと

今年度最後の例会もネット例会になってしまい、大変残念に思います。

新型コロナウイルス感染症が深刻化して早1年半が経とうとしていますが、接触を避けるために、会議や懇親会
などでも、zoomなどのオンラインシステムが多く利用されています。

司法の世界もご多分に漏れず、裁判手続のうち、提出書類の確認や次回までの準備を決めるだけの手続は、ウェブ会議(もしくは電話会議)で行うことが多くなっています。

以前は、そのような手続でも、特に遠方でない限りは、当事者双方が裁判所に出頭するのが通常でした。そのため、例えば、名古屋市内で執務する私も、岐阜や岡崎、四日市などに、場合によっては5分足らずで終わる手続のために、その何倍もの時間をかけて往復しなければならず、非効率極まりない状況でした。

それが、コロナを受けて、名古屋の事件でも積極的にウェブ会議が活用されるようになってきました。その結果、往復の時間をまるまる業務にあてることができるため、その分、クライアントの相談事項等に素早く対応できることに繋がっています。

やむを得ない事情に後押しされた側面はありますが、作業の効率性やクライアントの利益からも歓迎すべきこと
だと思います。

ただ、機械的な短時間のやり取りなら良いですが、私自身は、考え方が古いせいもあってか、オンラインでのやり取りには少し物足りなさを感じています。

オンラインの懇親会では大人数でも話題が一つになってしまい、こっそり近くの人とお話をするわけにもいきませんし、画面越しだと、皆さんの顔が見えてはいるものの、どうしても距離感はぬぐえません。

オンラインの会議でも、何となく距離感があったり当事者意識が薄れたりするのか、自分の意見に注目が集まることへのためらいからか、議論が活発化しにくいように思います。

顔は見えていても、物理的な距離の近さ、一つの場所にいるということ、同じ空気を吸っているということが、親睦を深めることや相手を理解すること、遠慮なく言い合えることにとって重要なのだと、改めて気づかされた
思いがします。

ロータリーの皆様に、一日も早く、ネット例会やオンライン例会ではなく、現実にお会いできる日を、心待ちに
しています。

ワクチンの接種が始まり、あともう少しの辛抱だという期待もある反面、5月下旬に、私の子供が通う保育園の園児に感染者が出てしまったということで2週間の休園になるなど、コロナが身近に迫っている印象もあります。皆様、くれぐれもお体に気を付けてお過ごしください。

今年度も一年間、ありがとうございました。